

100号記念特集③座談会

# 神戸は海洋文化国家キャピタル

小松左京★作家

野口武彦★評論家

向井修二★イメージプロデューサー

水谷顯介★大阪市大都市計画研究室

★そもそも文化とは何か？

編集部 神戸という語感には、なんとなく文化的な匂いがあるのですが、その本質を一口にいうのはなかなか難しい。今日は皆さんに岡目八目的に喋っていただいて、神戸文化論を浮きぼりにしたいと思います。

小松 文化というのには、いささか問題がありましてね(笑) 人間の集団があれば、そこに非常にユニークな社会的行動のパターンがある。つまり人間あるところ文化ありですわ。そういうレベルで文化をとらえるか、それとも時代と人をのりこえて一種の精神的シンボルの再生産をやって行くようなレベルまで下がって文化をつかまえるか、このあたりが大切ですね  
向井 そうですね。新しい環境デザイン創造とか、街の中にエキゾチックな、モダンな雰囲気をつくりあげていく、これも神戸の文化なのかもしれない。

小松 柔弱な文化人を生み出さない、というのも立派な文化になるのですな(笑)

野口 難しくいえば定義の問題ですが、文明というのは生活技術の相対だと考えますが、文化というのは生活様式のレベルの問題ですね。たとえば、京都には、大きな村としてだが、生活様式が確固と



小松左京氏

して残っていますね。

水谷 そういう点で、日本の文化は京都に代表される、というレベルでの見方があるのだな。それはそれで大切だけれど、当面の問題としては、開放的になる街の交流の中で、いかに神戸が微妙なちがいを持つかのニュアンスが、非常に大事になってくるのではないですか。

★神戸は海洋文化国家の首都だ！

小松 神戸というのは都市として形成されて百年にも満たない。そうすると神戸の街をつくりあげた文化というのは源流があるわけですよ。明治になって、神戸という都市が形成されてきたのは、そこに各地方から吸収されたものがある。日本文化の複合体の中の一つ



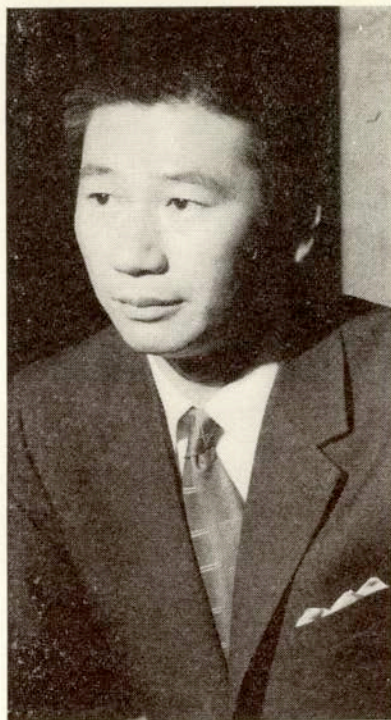
水谷頼介氏

のエレメンタルなものとして、そういう都市の中に入っていないかったものが神戸という都市に吸収されてきたのですな。

水谷 ただ、アメリカの都市の歴史も、植民文化以来で、そう長くはないんです。ましてカナダなどずっと若いのですが、そこにも立派な文化がある。となると、時間が問題でなく、都市の作られ方を考え直して見る必要がありますね。

小松 日本の文化という場合、法隆寺であるとか、火事と喧嘩は江戸の花、という風に見ているけれど、明治以前の一種の代表的文化以外に、文化としてある時期までつかまえられなかったマージナルなものがあつたと思うのです。たとえば海洋文化などで、瀬戸内海賊文化で一つの街をつくってしまつたのは明治以後ですよ。海洋文化国家というのは外国にはあるのですが、日本では島国という鎖国的状態で末尾におかれていた。ところが明治開国となると、これからは世界を相手に生きていくかしょうがない。その時にクロウズアップされるのは、七つの海を渡るの尻とも思わない海賊文化なんだ。海というものを中心として世界観をとらえる、そういう文化が、ポカッと一つのかたまりとして突然でてきたのが、明治以後の





野口 武彦氏

神戸だという気がする。

野口 日本での都市のつくられ方というのは、一つは内陸、もう一つは川だと思うのです。ところが開国の時代になって海という要素がでてきた。それが横浜と神戸だと思ふのです。その中で、横浜は完全に東京文化圏と融合し合っているのに、なぜ神戸だけが独立性を持ったのでしょうかね。江戸時

代までは寒村だった地域なのに。もっとも訂正しておきますと、一度だけ首都になったことがある。それも政治的にはミゼラブルな結末をとげましたがね(笑)

★佐賀鍋島藩が頑張る神戸市政

小松 神戸の街を見ますと、もの見事にいくつかの要素があるのですな。明治までは、生田界限は



向井 修二氏

ボカッとあいちゃうわけです。阪神間は灘五郷までで、一応とにかく江戸時代に文化ができてるわけです。

野口 灘五郷の酒造りは西鶴にもできますね。

小松 ところが、当時の関西の文化の中心は、やはり京都で、灘五郷は京都からみて大阪文化圏なのです。それが大阪が天下の台所となつて大阪文化圏として阪神間に拡散して行く。一方、京都の内陸文化にとって、平安の頃から有馬の湯が有名で、丹波を中心とする裏六甲の文化が昔からある。その文化が明石から淡路を通して四国に入る。だから、現在の神戸の中心部は明治時代まで完全なブランドでした。それが海洋文化の中心的存在で、海兵隊をつくった土佐の阪本龍馬が、神戸に幕府の操練所をつくり、神戸が開港場となり、外人居留地ができる。その中に、西日本の今まで非常に抑圧されてきた海洋民族の文化を神戸が中心地として吸収してきたのですね。

野口 海賊文化、海洋文化の伝統の一つは長崎でしょう。それが、江戸から明治になると、長崎だけが急速にとり残されるのです。ちょうど長崎から神戸へといっぺんにスイッチがきりかわるみたいになる。

小松 その神戸の吸収の仕方をみ

るとき、たとえば神戸市長は佐賀の出身だ。佐賀鍋島藩の連中が、神戸の中で非常に大きな仕事をしている(笑)大阪では、それが鹿児島なんですね(笑)そういう風な日本にあって抑圧されてきた海洋文化、近代における海洋文化センターが神戸に突然におかれた。

**水谷** それは面白い考えですね。そういう海洋文化的要素は、一つ一つが個性的に日本の中に点在していて、それが開港と同時に、統合したのでしょね。

**小松** その意味で、神戸は海洋国家の首都なのです。それを見損なっていて、東京・大阪のメガロポリスの中になんとかもぐりこもうとすると、非常に大きな可能性を見失なうことになる。

### ★神戸が誇る最高の生活文化ノ

**野口** 現代都市というのは、住民が街の悪口をいわれても怒らないこと、が条件だと思ふのだが、その点、京都の飲み屋で悪口をいうと、どの店からも総スカンを喰らう(笑)神戸が開放的だというのは、そういうことがないわけだ。それが吸収力に富んでいることに通じるのでしょね。

**小松** 神戸の文化形成とかでは、長崎とは共通したところがあるけれど、長崎よりも近代において伸びたというのは移民を容易にひき

うけてきたからです。都市というのは、地方の喰いつめものがやってきても、まず氏、素性を問われない。だんだん上に行く問題にされるけれど。ところが地方の農村は、あいつ何代前にどんなことをしていたか、をいわれる。農業文明の一番しんどいところはそなんです。

**野口** 京都がそうですね。

**小松** 京都はそれでも、何代目かになると吸収して行くメカニズムを歴史的に持っている。都会というの、実力主義で上にあがるのがいいところでしょう。神戸はある意味で、それが国際化したものです。そこが面白いのです。神戸で誇るべきことは、デリカテッセンと、ユーハイム、それにフロインドリーブがあるじゃないか、ということですよ。それにキングスアイムス。これらが平気な顔をして神戸の中に入って、ヨーロッパ文化の最高のものを料理で提供している。生活文化の最高のものを、神戸は知らん顔をして取入れている。この国際的エミグラント文化というのを十分に評価する必要がありますね。

### ★阪神間はすれちがい文化圏

**水谷** 確かに神戸は、そういう特色を持っているが、それが開放性となると、一口にいて、これか

らの街はますます通じて行く。たとえば、アメリカの東部海岸の場合でも、ボストンとフィアデルフィアはちがうとか、ましてニューヨークは全然ちがうといったニュアンスのちがいが、これはこれらの神戸文化というテーマにも入るが、非常に大事になる。たとえば、水のエネルギーの統合の街として神戸をとらえる時、大阪もそういうことを歴史的にやってきたわけです。そこでの神戸と大阪の微妙なちがいをどう理解したらいいかな。

**野口** それに関連しての質問なのですが、新参者には分らないのは阪神という言葉を使う。六甲の上から見ると分かるけど、全部つながってしまっている(笑)ところが、大阪と京都という歴然とした境界があるようだ。これは、先ほどの文化の定義に戻るようだが西宮、芦屋などは、大阪文化圏なのか、それとも神戸文化圏なのだろうか。

**小松** それははっきりといえると思うんだ。近代以後の神戸は、六甲山が一つの境なのです。あれがマージナルなのですね。阪神間とはいふけれど、海岸部の灘五郷までは大阪です。それがね、内陸の丘の部分はちよつとちがうのですね。阪急沿線は、どちらかというと神戸文化にちかい。谷崎潤一郎



おんがら屋



きものと細貨

おんがら屋

神戸

西店/三宮センター街・電話 33-8836 (代)

東店/三宮センター街・電話 33-0629

三宮店/さんちかタウン・電話 39-4303

東京

銀座店/銀座並木通・電話573-5298 (代)

渋谷店/東急本店・電話462-3409 (直)

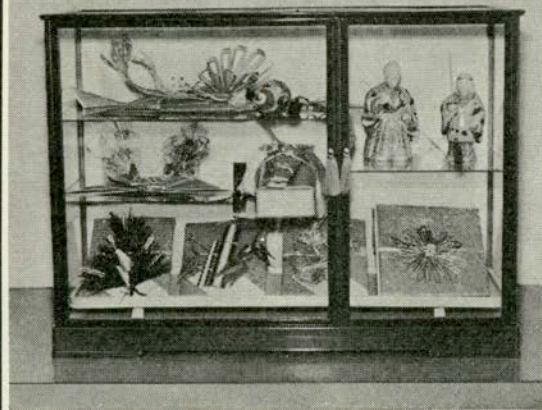
日本橋店/東急日本橋店・電話211-0511 (代)

(内線294)



幸せな二人  
えにしを結ぶ 結納儀式用品

壽



合資会社

遠藤福寿堂

東店＝神戸市生田区トア・ロード高架上 TEL(39)代1871  
西店＝神戸市長田区市電菅原東入 TEL(55)代2251  
メトロ神戸店＝神戸高速地下街 TEL(34)1035

あなたの美しいヘヤースタイルと  
花嫁をつくる 美容室 エリザベス



エリザベス

畑尾 美久子

本店美容室 生田神社前新河南ビル2階 <33>8894  
婚礼衣裳部 生田神社前(元本店美容室) <33>3258  
三宮店 三宮神社山側三上ビル2階 <33>4917  
芦屋支店 芦屋市阪神芦屋駅前 <2>4067  
西宮店 西宮市阪急西宮マンション北館1階 <67>1294

美容担当(東京初代遠藤波津子直流)専属結婚式場  
生田神社・オリエンタルホテル・阪急六甲山ホテル・住吉  
学園・蘇州園他



の細雪は、芦屋を抜っているが阪神より南で海岸部です。この細雪のメンタリティは、大阪船場のメンタリティですな。神戸女学院、関西学院、芦屋の山手は、もう神戸です。

水谷 それは非常に面白いな。いまちようど、水のメガロポリスと陸のメガロポリスの接点を問題にしているのですが。阪神間では神戸文化は山麓にのびて、大阪文化は海岸沿いに神戸にのびる、そして互いに相殺があるんですね。文化の重なりがある。

小松 西宮では、海西宮と山西宮が明らかにちがう。現在は、海側の大阪文化は、モウレッツにダウンしている。神戸型の山麓文化の方が、阪神間では強いんですね。

水谷 阪神間は、大阪文化と神戸文化のすれちがい文化ということになるのですな(笑)

### ★水商売の中継基地・神戸

向井 それは神戸について皆がいうことですが、神戸にはかわいらしい女の子がいる。ところが、我々神戸をよく知ってるものにとっては、それが疑問なのです(笑) そのかわいらしい娘というのは、殆んどが西宮とか芦屋とかの令嬢がムード作りをしているので、少し西の方へ行くと、どこにでもいるような女性がウロウロしている。街

のつくりもそうなんだな(笑)

小松 女性のファッションの流れも面白いね。

向井 水商売の女性の流れも、神戸が中継基地だ(笑)

小松 九州の女性は流れて神戸にくる。そして神戸を踏み台にして大阪、京都をとばして東京にボンと飛ぶ。四国の場合は、阿波、徳島がそうだ。ところが、高知、和歌山になると、これが大阪南に流れて、余り飛ばないで定着するタイプが多い。飛ぶとすれば名古屋あたりになる(笑)

野口 ちようど間を抜ってる感じだね(笑)

小松 神戸は東京への中継基地なのですな。

向井 ファッションとか、美的センスの問題となると、別の地図がいりますよ。たとえば、長崎の一番大きい問屋の亭主と話をしたのですが、長崎は非常にオシャレな街だという、ところが、オシャレな街だけれど偉大な政治家が出ない。オシャレな街というのは、偉大な政治家のでないほど軽率な経済観念があるのですね。神戸も、そのケースにあてはめると、非常に大阪、東京に傾くのです。面白いことに、コットン協会の数字をあげると、神戸が一番よくコットンが売れる。ということは、非常に染色しやすい、色出しがしやすい。

い、したがって街が非常に軽やかな感じがするのです。

野口 それですね。僕が神戸にきて驚いたのは、街の光の量がちがうのですね。派手な橙色のネクタイをして神戸を歩いてもなんともない。ところが新幹線で東京につくと、ものすごく野暮になる。そういううちがありますね(笑)

### ★横尾忠則にみる神戸裏文化

野口 大学教師として面白いことに気が付いたのですが、神戸大学新聞が懸賞小説をやる。審査員をやらされているいろ読むのですがものすごく都会的な小説と、一種農村小説のような泥臭い要素の小説とにはっきり分れる。なるほどこれが神戸だと思いましたね。阪神とか、山麓文化の都会的な要素が一つ、それから神戸文化とは別の、野暮ったい兵庫文化というものがあろうと思うのです。六甲の北側の丹波、丹後、但馬、それに岡山、鳥取、播州、それが海岸線伝いでなく、六甲山を越えて神戸に入ってきてひしめきあっているという感じなんだな(笑) 神戸の胃袋が、それだけ大きいのですよね(笑)

水谷 その典型が横尾忠則じゃないかな。裏を通して神戸新聞にきた。

野口 彼は神戸の人かと思ってい

ましたが、裏文化ですか(笑)

**小松** あれは播磨の西脇です。西脇、三木、小野という、今の神戸と全然ちがう。地方の間屋とか商家が門構えをつらねるものすごいガッチリした街ですわ。

**水谷** 内陸文化やからね。

**野口** 元禄文化といわれて視覚文化が頂点に達しつつある。そうすると江戸の浮世絵が、途端にボカッとでてるのですよ。サイケはサイケだけれど、純粹サイケじゃなくて、オドロオドロした文化文政文化ですね。横尾忠則が、そういうイメージの中で神戸からでてくるところに、神戸をとりこした日本の絵画感覚というか、色彩感覚の非常な特色を感じたのです。あの浮世絵の雰囲気は、西脇的というか、ヒンターランドの雰囲気と関係があるのでしょうか。

**小松** あるでしょうね。一度、西脇とか三木を歩かれると分ると思いますよ。

**野口** 寺山修司が青森から南下してくるのと対照的ですね(笑)

**水谷** そういう意味では、東京型東北文化と似ているのかもしれない(笑)

★神戸の生んだ文化人あれこれ

**小松** 神戸のハイカラさとか、モダニズムはどこから持込まれたものですかね。僕は大阪の京町堀に

生まれて、おふくろが東京の人形町、親爺が千葉の館山の出なのですが、これがまた野蠻で(笑)。

その血を受け継いでいるから耐えられたのでしょうか、神戸一中に入った時、こんな野蠻な学校は見ることがないと思ったね。とにかく荒っぽいのです。すぐぶんなぐのですね(笑)

**水谷** それをある程度受け継いでいるのが六甲高校ですね。

**小松** これが神戸だ、と思ったのですが、以後神戸を離れて神戸の話を聞くと、大正末期から昭和の初期にかけての神戸、阪神間のモダニズムはものすごいものです。宝塚は、パリのカジノドフォーリーなどの唯一の接点点なのです。それから関学にせよ、神戸女学院にしても、あのモダニズムが、兵庫のバンカラ文化と共存しておった。これは面白い現象だな(笑)

**編集部** 神戸のナンバースクールである、一中、二中、三中からはそれぞれ特色のある人が出てますね。たとえば、竹中郁、小磯良平、田宮虎彦、稲垣足穂、花森安治、淀川長治、富士正晴、朝比奈隆はかにもいろいろいます。

**小松** 野坂昭如が神戸中学で、遠藤周作、楠本憲吉が灘中ですか。

**編集部** 東山魁夷が二中です。神戸出身では島尾敏雄、椎名麟三がいる。

**小松** ここでいうけど、神戸一中はカスですわ(笑) 優秀な奴は神戸高商に入って、海外貿易の商社マンになりよる。

**野口** それは都立一中が、役人ばかり養成したのと同じ理屈ですな  
**水谷** 高商というのは、どういう風に文化的に形成されたのでしょうか。

**小松** 成立の経緯はよく分らないけれど、鈴木商店などは、神戸高商の伝統をつくるのに大きな貢献をしていますね。神戸文化の形成に関しては、高商は一時期を画したのですよ。こんなことをいうと神戸の財界人が、どんな顔をするか分らんけれど(笑) しかし、海外貿易に優秀な人材が向かったことが、神戸の開放性の伝統を維持したのですからね。

★具体美術に見られる生活文化型

**小松** 画家はいいのが出ていますね。これは野口さんのいわれた色彩感覚と関係があるのでしょうか。たとえば、吉原治良、田村孝之介がいる。

**向井** 吉原治良は大阪ですね。それから手前味噌的になるけれど、具体美術協会の場合は、特に阪神間の絵かきが多い。それが一つの地域性の中に、あれだけ特殊な人間が集まるというのは非常に珍しいという感じがするのですよ。



**水谷** 具体美術の場合、阪神間だというのは、日本の産業社会型の中で割合に生活社会型を基盤にしているからでしょう。具体美術の人が生活文化型である地域に住んでいる感じですね。

**野口** ベッドタウン的文化ですか

**水谷** まあそういうえるでしょうね  
日本流にいうと、そういうものをまだ文化としてとらえないんだけれど、何となく、そういう連中が割合にささやかに集まっているという意味ではユニークなのです。

東京の文化が、どうしてもマスコミ文化で形成されているという中であって、具体美術の場合は生活文化という所で形成されている、そこを評価する必要がありますね  
**小松** 都市デザインで芸術家が腕をふるうのは何の抵抗もないでしょう。こじゅうとのジャーナリズムがいない。これは淋しいみたいな、ええみたいな(笑)

**向井** 相撲の世界みたいに東と西という感覚があるのですが、それが万国博の時に、いろんな現象となっておこってきている。

**小松** ただ、それを発展的に解消するのは、万博だけでは足らん

★脱体制の世代に應える産業論を

**水谷** 神戸の中で生活型文化を考えると、大学というものが文化の中で大きな役割を果たさないと

いけないと思うんだけど、その点、関学を大きく評価する必要があるね。

**小松** 関学はつぶれるかもしれないという話で(笑)

**水谷** それは長い目で見ると、非常に面白いと思うんだ。今までの関学のイメージでは考えられないことをやっているでしょう。

**野口** 大学紛争のオリジナルなパターンにはなりうるかも知れないが。関学の全共闘が神戸大学にくると、神戸高商時代の偉い先生の像が壊される。何の未練もない。

**小松** ある意味では、神戸高商時代が終わって行くのでしょうね。

**野口** 就職の状況を見ているとよく分るのですが、今は、学生にとっては体制も反対制もビッグビジネスなんです。そうではなくて大衆実存主義というのか、自分を本当に生かしてくるところに行く一口でいえば脱体制の世代がいる

**水谷** そういう人間を、常に創造できるのが大学でなければならぬ。

**小松** 若い人は大企業に魅力を感じなくなってきた。優秀な奴は、そんなところに動めるのが面白くないからヒッピーになって無銭旅行をする。それで結構、喰える時代になった(笑)

**水谷** それは神戸の産業論にも関係するが、三宮の再開発にしても

そうだけど、小売業がビッグビジネスになりとうていしょうがない。ユーハイムがケーキを量産化してもつまらんし、若い人は飛びつかない。これは大切だと思うんだ。

大企業になることを目指しているも、神戸の小売業の価値みたいなところにポイントをおいとかないと、今後、同じあやまちをくりかえすと思うんだ。このけじめを決意としてはっきり持つておくことが、神戸文化のキメ手になってくる、という感じがするね。神戸の街の場合、生活産業論ではないけれど、神戸のビッグビジネス、日本の企業の範疇でいえば中小企業の部類に入るが、もっとも情報産業化しているのが、ユーハイムであり、フロインドリーブ、それにデリカテッセンであるわけですよ。そういう風に考えると、産業とか資本の考え方を根本から考え直すことが、現在の神戸にとって一番大事なことだと思うね。

★決意を迫られる文化パターン

**水谷** これからの神戸文化を考える時、たとえばアメリカでは、海ぎわにある東部海岸が人を集める時に、地方の人、田舎の人を内陸に貼りつけていく。その時、自分の都市の持っていた文化性を、海ぎわの街と内陸の街とに、どれだけ同じレベルに持って行けるかと

いう勝負があると思うのです。神戸は今に至って初めて六甲を越える街づくりを始めた。六甲の裏は、丹波、但馬、播磨とつながっているのだけれど、そういうところに東部海岸みたいな文化像をどれぐらい作れるかというポイントが重要な問題として残っている

小松 神戸文化の形成は、世界海洋文明の古代史と、現在と未来に観点を向けることでしょね。要するに神戸が、海洋国家の首都として形成されるという風に、ポリシイが取られるべきでしょう。

水谷 そうだな。神戸は内陸文化ではないからね。これからは、どんだん都市が開いた状態での直接交渉となる。つながっていて開いた状態ですね。そこで文化を形成する場合、基本的には人間のやることだから、そうちがわないだろうが、文化のつくられ方のプロセスとして、かなりちがったものができるでしょうね。

小松 今だに一つの都市としての最終的方向を決める場合、微妙なニュアンスは、その時持っている文化が内陸文化であるか、それとも海外とのつながりに於て貴族文化であるのか、商人文化であるのか、それとも、神戸みたいに海をフロンティアとして見る文化なのか、このことが非常に重要だと思うのです。神戸は、日本文化の中で一

種のハメ込みになる、という風に腹の底では非常にユニークな独立国家だ、という方が面白いかもしれない(笑)

水谷 神戸は、極端にいうとまだどちらとも決まっていけないのだからからの問題として選択を迫まられているわけですね。アメリカの文化をみると、開いた文化なのです。そして、その開いた文化の中で発展をしている。お互いに東京と神戸を往復するというようなことを、三つ四つの地域でやっている。ハードウェアとソフトウェアをうまく使い分けているのです。日本では、東京と大阪が拠点で、あとは地方ということになっている。アメリカでは地方と拠点を使い分けているのですよ。

野口 ポリーセントラルですか。

水谷 その意味で非常に近代的に高度化していると思うんだ。しかし、日本では、一都市である神戸でもそうだが、センターとサブみたいなものを、まだ続けなくてはいけない気がする。その中で神戸が伸びていくのは、やはり大拠点型都市像でなくて、中間的なものだと思う。それがもう一つ先にいくと九州だ。日本には、東京型、大阪型、神戸型、九州型という文化パターンがあるのでないか。向井 神戸も、うまく行かないと九州に追いつかれるね。

水谷 九州の大自然に、加えて交通網を空、陸に完備すれば、その可能性は十分にあるな。

小松 神戸にしがみつかないと生きておれん、という若い奴はいないから、九州に開発の可能性があると皆、行ってしまうかもしれない(笑)

水谷 しがみつかと生きておれんというのは淋しいことだが、それでも神戸が好きで、神戸に住んで東京にも行きたい、世界にも行きたい、というのが出てくるね。

小松 神戸は、まだ荒されていない可能性がいっぱいある。そういう点に魅力があるですね。それでも私はアフリカの方が面白ければ、アフリカの方へ行くよ(笑)

野口 私は、東京と神戸を往復していずれの文化圏にも信条的に属していないという特権を持ち続けているのだけれど、小松さんは、いったい大阪文化圏にいるのですか、神戸文化圏にいるのですか。小松 そら、私は小松文化圏ですがな(笑)

△オリエンタルホテルにて▽

☆神戸っ子愛読者映画優待券

このコーナーをご持参の方は

神戸新聞会館大劇場で

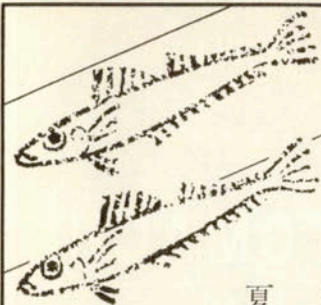
上映の観覧料が優待割引されます

一般500→400円

学生400→300円

小人250→200円になります





抽象画のある  
アンフォルム

# お料理の店

打水のお庭に涼しいすだれ  
赤坂は北海道の涼しさです。

唯今瀬戸内の鮮魚の生づくり……。  
塩釜焼など天下一品の味……。

夏のスタミナ料理

神戸肉を

焼いて

野菜を

たっぷり

一、三〇〇円

(岩風呂・完全冷房)



お泊りも  
出来ます。

赤坂

神戸中山手四 TEL ㉔ 7836・7846

リンゴ酢と蜂蜜で  
腕をふるった  
新しい“味”



神戸三宮生田ノ社ノ西

鯛の又半

電話・三の宮 ㉔ 0935

元町  
タウンジャーナル  
★★★★★  
MONTHLY  
MOTOMACHI  
Road

★モトマチ1・2ギャラリーロード

第二回「世界の船」展開く

七月二十日(日) 海の記念日を機に好評のモトマチ1・2ギャラリー・ロードは「世界の船」展を開いた。

ミナト神戸にふさわしく、神戸の船会社、造船会社の協力を得て、新しい



原子力船むつ、ホーパークラフト、潜水艇しんかいやコンテナ船、またその他にも神戸に入港する豪華船キャンベラやオロンセイ、またロッテルダムやクングスホルムなど世界中の船をカラーパネルや白黒写真でみせた。

協和銀行角には、今年度の海の女王の写真が展示されて、道行く人々の注目をあつめている。

なお今回は、カラーパネルの人気投票によるパネルのプレゼントの他にコトブキがウインドーに「しんかい」の模型を飾り、お子様(小中学生)向のアンケートを行なった。これも抽選によって、色鉛筆やノートが当たることになっている。また、オープンにはドイツ船のキャプテンがテープを切りスタートした。

★集まれ音楽仲間

日本楽器神戸店では、有望なアマチュアバンドを集めて次のような企画を予定している。  
△アマチュア・バンド・フェスティバル▽

とき 7月26(土)・27

(日)

場所 奥池野外ステージ  
△第3回全日本ライト・ミュージックコンサート▽

とき 8月2(土)・3

(日)

場所 農芸会館



元町1・2  
ショップ・トビックス

★手入れのゆきとどいた庭の芝生の緑は、夏を一層鮮やかに涼しくさせてくれるもの。刃物の店ハ菊秀Vのゴールデンスタター芝刈機で庭の手入れをどうぞ。七、七〇〇円  
★牛肉の△三ツ輪▽では土・日・祝に限り神戸肉を一割引奉仕。  
おいしくて安い肉で夏のスタミナ作りを考えませんか。また盆の帰郷に神戸名物牛肉の味留づけをおみやげにされてはいかが。

★ネクタイのおしゃれニュース、  
△元町バザー▽では最新流行のトラッドな柄が数多くそろっている。ラフなスタイルの多い夏にキリッとしたネクタイ姿はステキです。  
二、五〇〇円より

★△岡田シルク▽ではウエディングからハムーンまでの服地がすべてそろっています。

ウエディングドレスセット、ヘッドベール・ドレス・パニエ  
七、七〇〇円  
生地はジーンセティックです。

★アポロ11月号面着陸、月へ行くことが可能な時代になりました  
△マルゼン▽には月の千万分の一の縮尺で直径30センチの立休月球儀が四、五〇〇円。現在、フアブリ世界名画集全60巻一巻三〇〇円(平凡社)の予約受付中。

★昔なつかしい金平糖はいかが。  
△二つ茶屋▽に一袋一五〇円であ





故マリリン・モンロー

# ★「神戸っ子」は

「モンローがお好き」

元町1・2丁目の企画部のアイデアで、六月に世界の女シリーズが開かれたが、このほどその人気投票の結果が判明。

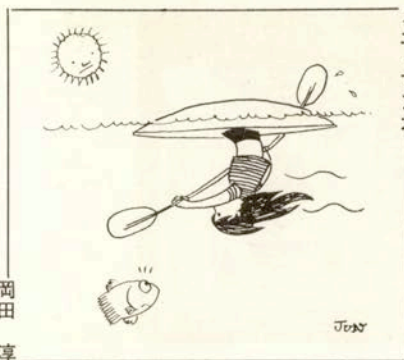
第1位 マリリン・モンロー

第2位 オードリー・ヘップバーン

第3位 グレース・ケリー・モナコ王妃

亡きモンローの魅惑的な口唇が、男性ばかりでなく女性のファンまでも魅了したようである。年令層も20才前後が圧倒的。日本は、オードリーのファンが多いといわれていたが集計結果が第

ミニ・マンガ



岡田 淳

2位となったのは、ちょっと意外であった。——どうやら神戸っ子は、モンローがお好きなようである。

この「世界の女」パネル写真展、大変好評だっただけにおもしろいエピソードが続出。一夜にしてB・B蒸発、週刊誌なら飛びつきそうな話だが、どっこい、こちらはパネル写真のこと。パネル写真が貼られた大きな立看板が、一夜のうちに消えてしまったというオハナシ。盗まれたのはB・Bを先頭に、オードリー、トウィギーなどあの大きなパネルを運ぶには相当肩が凝ったことだろうし、部屋もさぞや手狭になったことだろうと、心配する向きが続出。ごくろうさまでした。

## ★万国博讃歌—

サマーミュージックフェア

神戸新聞社と万国博兵庫推進運動協議会の共催で六月二十七日「万国博讃歌—サマーミュージックフェア」(兵庫県、神戸市、神戸商工会議所、市婦人団体協議会、日本楽器神戸店後援)が、神戸市生田区の市立中央体育館で開かれた。

音楽評論家、末広光夫さんの軽妙な司会でプログラムはすすみ、神戸市婦人団体の百五十人が、そろいのゆかた姿で「万国博音頭」を踊れば、会場を埋めた約三千五百人の観衆から盛んな拍手がおくられた。陸海、空自衛隊音楽隊の合同演奏を最後に盛況のうちに終った。

ります。

★「ツバメ屋」では西陣織ネクタイが二九〇円よりあります。

★ビクニック、ハイキングのお伴に「不二家」のデリシヤスバイはいかが。ちょっとお腹の空いた時などとても便利。可愛いピンクの小袋が目印。

一〇〇円、二〇〇円

★ミニ論争うんぬんはもう過去のこと、今やミニでないと恥ずかしい位。△元町時計店△ではカルダンミニ(マルマン)が二、二〇〇円よりあります。

★夏のキャンプ、ビクニックにポイントブルブレイヤーを持っていきませんか。楽しさが倍増するとうけあいです。△大番△ではクラウンポイントブルブレイヤーが一万円。

★お部屋に涼しさを△工芸品の店△イクシマヤ△に貝風鈴が九五〇円であります。貝のゆれ打つ音色が海辺の涼しさを運んできます。

★文房具△太田屋△はパーカー万年筆指定販売店。何でも張れるネーム入れ闊ダイモが好評。二、一五〇円

★夏はさっぱりした口当りの食物が喜ばれます。寿司の△矢倉△へいらっしやいませんか。お子さんずし二五〇円、矢倉箱詰二五〇円

★残暑はきびしいもの。△銀座屋△では各種日傘を五〇〇円より。

★△日本旅行△神戸中央営業所では9月1〜30日迄の毎日、エック旅行を用意しています。受付は8月上旬より。

# すてきなお店

う ね

元町1丁目  
33 3 1 1 2

★格式のあるシックな、それでいてモダンなセンスが漂うお店である。創業は昭和29年。神戸という土地柄、舶来布地でのオーダーが多く、客層も中年層が圧倒的。しかし、最近、独自のスタイルを求めてオーダーに来る若い人も少なくないという。英国のドーメル、グロレックス、フランスのランパン、イタリアのピンキー、ラコステなど、最高の服地を独自のカッティングで、他の店にありそうでない、世界中に通じる服が「うね」オリジナルの一流仕立てである。

コトブキ(喫茶部)

元町2丁目  
68 1 1 3 6

★元町2丁目の西入口近くにあり、山側に菓子部、浜側に喫茶部とお店が向いあっているクリーム色の店先のディスプレイが、可愛い、家族連れの客が多い。

また、ランチタイムにはBG、学生のデザートコースにもなっている。店内はゆったりと落ち着いたムードをかもし出していて、壁には時季折々の写真がかけられている。現在、山側が改築中で12月にはオープンする予定。1F・喫茶部、2F・レストランを計画中。大衆的から高級ムードも盛りこもうとしている。

★元町うまい店  
つるてん生楽

元町通二の八一(33-2236)

「昔は、つるつるの店生楽というところなんですけど、お客さんがつるてんと読みはって、つるてんつるてん、と皆さん言わはりますねん」

めん類は女性向の食物のように思われがちだが、ここの店に関してはそんなことはない。昼食時には、OLも課長さんも男性社員もつるつるとめん類ならではの音をたてている。最近ではそばに人気があるという。ここのそばはうどんと同じぐらいの白さをしているが、それは三度づきのそば粉を使っているからだそうだ。それは「最高の材料を使えば美味しいものができる」という店主の信条の表われだろう。だからお値段もそれにふさわしいだけ頂きますと、きつねうどん(そば)は金百二十円也、天ぷらうどん(そば)は金二百円也である。量も多いので一杯のうでんで昼食はOK。

営業時間 午前十一時から午後九時  
定休日は毎月曜日

＊  
ショッピングは  
楽しいモトマチへ  
＊

88頁～90頁は  
元町1、2丁目の  
企画ページです  
＊



涼しい屋上ビヤガーデン



五〇〇万ドルの夜景を眺め、すばらしいバンド演奏をききながら、サントリー純生できつとご満足が

飲みほうだい (サントリー純生ビール クラウン・コーラ) + 食べほうだい! <北欧風ヴァイキング料理> 1,200円<飲食税120円別>

9Fでは、スカイ・サントリー風一品料理も盛りだくさん準備しています



なごやかな  
ムード  
すばらしい  
眺望！

三宮交通センタービル9階 TEL ③93705～6

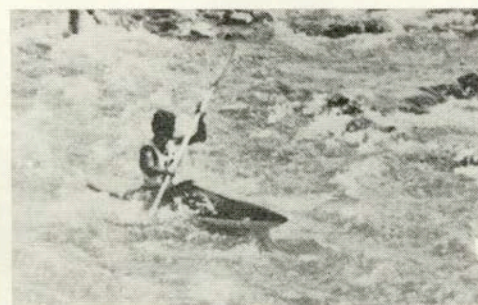
# スカイサントリー

# 神戸遊戯誌71

## ★岸弘之輔と藤原祥子が最初

昔、原始人は木の幹を流れて浮かべ、それにまたがって木の枝をカイ（オール）として漕いだが、その子孫たちは木の幹に火でくぼみを作り、石の道具を使って船首と船尾をとがらせることを思いついた。そしてカイは水をかくのによい形に変えられていった。これが丸木船、カヌー（CANOE）である。やがてそれが進化してスポーツとしてのカヌーとなったわけだが、カヤック（KAYAK）はグリーンランドのエスキモーのカヤックから進化したものであり、カナディアンカヌー（CANADIAN・CANOE）は北米インディアンたちの櫓の木の皮をぬい合わせて作ったカヌーから生まれたとのことである。

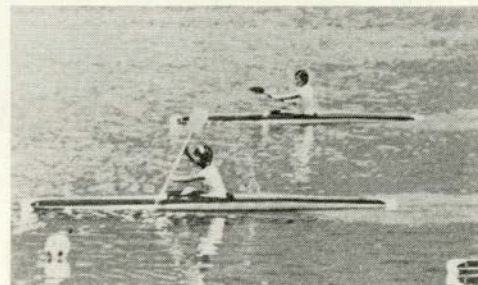
スポーツとして始まった時期は明らかでないが、スコットランドのジョン・マックグレゴリーが一八六五年にロ



スラローム 艇長四・〇m、艇中六・〇cm重量十二kg競技艇の特徴を生かし、スリルとスピードに富んだ溪流下りが楽しめるレジャー用カヌー



カナディアン（二人乗） 艇長六・五m、艇中七・五cm、重量二・三kg、高度なパドルイングの技術が楽しめる



カヤック（一人乗） 艇長五・二m艇中五・一cm、重量十二kg、公式競技用として優美なスタイルとスピード感にあふれるカヌー

ブロイというカヌーで欧州の流れを漕ぎまわったのが最初といわれている。これに刺激されて翌年イギリスにカヌークラブが生まれたが、一八七三年にロイヤルカヌークラブとなり、さらに同八七年英国カヌー協会創立の原動力となった。つづいてアメリカ・カヌー協会ができ、ヨーロッパにも広く普及、一九一四年にはスウェーデンに広まり、第一次世界大戦が終わりドイツに平和が訪れると、ドイツの青少年はこの近代スポーツ・カヌーにとびつき異状な発展をとげた。その後国際カヌー連盟が一九二四年にでき、ついに一九三五年のI・O・C総会で翌年の第11回ベルリンオリンピック大会に正式に参加することが決められた。

日本のカヌーはベルリン大会の翌年から始まったが、これは同大会に出場した日本代表ボート選手団が持ち帰ったカヌーを使用したものだった。同年九月東京市役所と専修大学とが荒川で対抗レースを行なった。日本カヌー

カヌー (1) 青木重雄



イレースの最初である。だが、カヌーという名がわが国に登場したのは今から一〇七年前（文久2年）で、水野築後守が小笠原島に咸臨丸で乗り込み、英米系住民を招き、島の状況を調査した時の記録にのっている。これはアメリカの捕鯨船で同島に連れてこられたハワイ・カナカ族が作ったもので、多彩な船首の飾りつけは別として、大体現在のハワイアン・カヌーと同種のもので土民の交通と漁業に使用した。また、昭和四年夏に当時佐賀高校生であった小川平二、前労働大臣たちが、カナディアン・カヌーを早くも野尻湖で漕いでいるが、という経路でそのカヌーが日本に持ち込まれたのかは明らかでないし、漕法などもわからぬまま我流でこいでいたものらしい。やがて昭和13年に日本カヌー協会が生まれ、この年相模川の厚木から河口までの16キロの第一回イレースが行なわれた。だが、第二次世界大戦は発のため花やかなイレースは戦後まで日の目を見られなかった。

戦後復活するや、関西でトップを切ったのは関学の岸弘之輔（現関学OB会長で総監督）である。彼の主唱と指導で昭和33年から関学に同好会ができ、武庫川で練習を始めたが選手は十数人だった。ところでこの六月二十六日夕方同じ武庫川でカヌーの練習をしていた大阪商大生の鈴木良雄君が、不幸にも転覆のうき目にあい行方不明になったことはじつにいたましいことだ。このカヌーは一人乗りのカヤック（KI）で、全長3呎、グラスファイバー製のためわずかなショックでもこわれやすいものである。

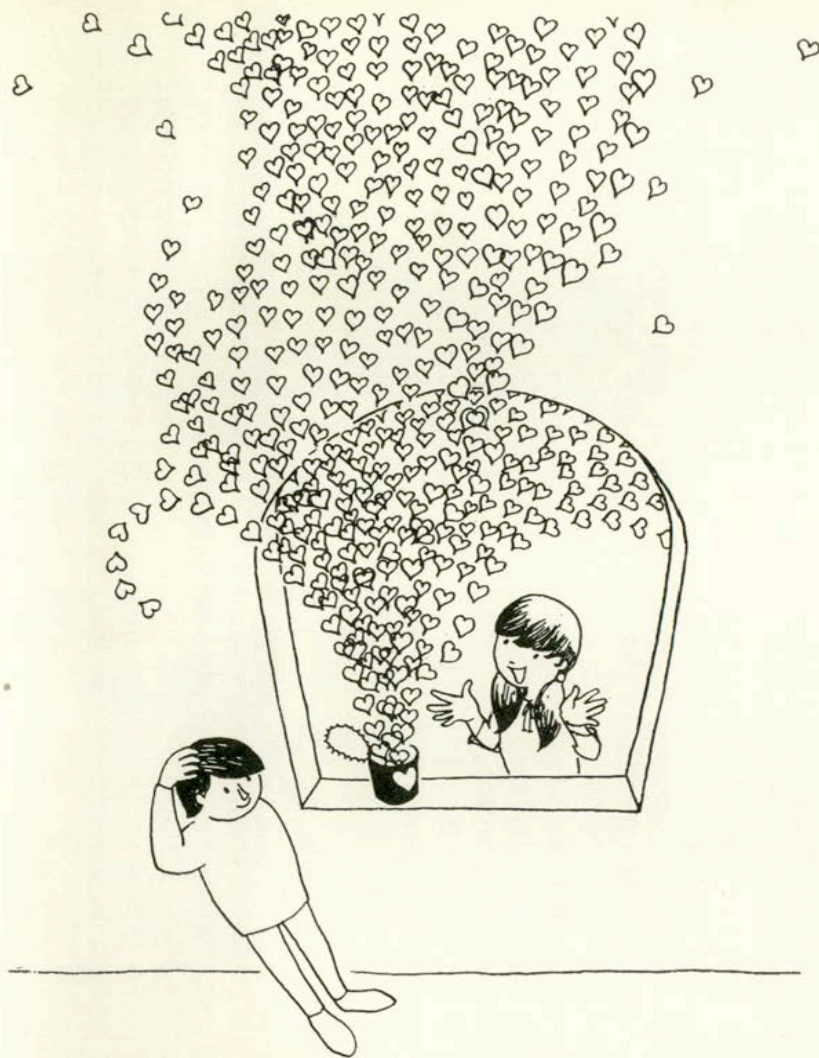
さて関学につづいては京大（選手40人、瀬田川で練習）が始め、さらに今日へかけて立命、同志社、大阪経大、大工大、関西医大、大阪商大らがチームを結成、女子では武庫川女子大を筆頭に京女、成安女子短大らにチームが生まれた。関西における女性第一号は武庫川女子大の藤原祥子で昭和38年からスタートしたが、翌年の瀬田川レガッタで二位となり、関西選手権でも二位にはいった。なお、岸弘之輔選手は35年度全日本選手権で三位となっ

ている。

岸らの努力が実を結んでチーム結成以来の関学の活躍振りはまことにめざましかった。35年全日本に岸・和久（カヤック・ペア千呎）が三位入賞のとき、同校の坂根・阪本は優勝、さらに翌年度も全国制覇をとげた。38年度関西カヌー選手権大会ではC2五百呎決勝に関学の八尾・古我が、C2千呎に古沢・山本、C2一万呎に河村・朝熊がそれぞれ優勝、39年度関西選手権大会ではKI五百呎に古我暢義が優勝したのをはじめ、KI千呎、K2五百呎、K2千呎共全部同校が一位となった。40年の関西選手権大会兼関西インカレ（瀬田川）でもオリンピック選手3名の特別参加をまじえて大いに振るい、団体優勝をとげたが、これこそ六年連続関西制覇の偉業だった。また、その余勢をかって同年八月相模湖で催された全日本選手権試合でも四種目で大活躍、四年ぶりで優勝の栄誉をにない、全国学生クルーとして最強となった。現在では選手の数も四十余名にふえている。

ちなみに今日行なわれている競技用カヌーの規格はカヤックは一人漕ぎから四人漕ぎまで、女子は一人こぎと二人こぎの二種類、カヌーは一人こぎと二人こぎで女子用はない。艇の中に腰をおろして進行方向に一本のカイの両端に水かきのあるパドルを使って左右交互に漕いで進む（同時に小さなカジがあり足で操作する）カヤックと、立てひざをして、一本のカイの片側にフレードのあるカイを使って片側だけでこいで進む（カジはない）カヌーとは操作が全然違っている。（四四・六・二八記）

注、「カヌー入門」（兵庫県カヌー協会編）と「カヌーをつくらう」（日本カヌー協会編）を参照しました。



シリーズ コミックス

かんづめをあける!

その2

虹

岡田 淳



